

学校だより

大田区立大森第八中学校

令和4年7月1日 第4号

修学旅行・第48回合同移動教室 紀行

校長 保谷 満

6月2日から2泊3日で3年生は修学旅行に行っていました。新型コロナウイルス感染症防止の緊急事態宣言下で、修学旅行に参加できなかった先輩たちを見てきたせいか、行きの新幹線の車内から、参加できたことへの喜びに溢れていました。その喜びが行き過ぎてしまうと羽目を外してしまいがちなのが中学生ですが、そのような自分勝手な行動もなく、終始「自分たちの修学旅行を大切にしよう」という気持ちが表れているように感じました。

特に印象に残ったのは2日目の金剛能楽堂での体験学習。日本の伝統芸能に興味関心も少なく退屈を感じる生徒もいるかと思われましたが、見るも初めての楽器演奏や舞、解説など未知の世界に引き込まれ、現代の私たちの生活ではまず体験しないであろう演者以外は無音の世界。まさに水を打ったような静寂の中での観賞でした。

演奏が終わった時に自ら沸き起こる感動の拍手、そして生徒代表による舞台上の体験では、仲間に対する心温まる拍手、最後の質疑応答では我も我もと、次から次へ質問が飛び出していました。この3日間は快晴、気温は高めでしたが乾いた空気がとてもさわやかで、感謝・感動・協調・社会におけるマナー・・・目に見えない大きな収穫がありました。

続いて6月23日から1泊2日で6組の1，2年生が区中学校合同移動教室で菅平へ。

初めに農園でのリンゴの摘果体験を済ませ、夕食後に花火、そして夜はキャンプファイヤー。火の神から各学校の代表生徒による火の子へそれぞれ10通りの意味を持つ火が分け与えられました。その後、各学校の出し物を行いました。本校の生徒は元気よく声を出し、振り付けを交えた歌を披露しました。感心したのは他の学校の出し物の際に、とても乗りの良い受け答えや手拍手を進んで行き、盛り上げようとしていたことでした。

2日目の朝には、もう帰り支度をしなければならなかったため、たいへん慌ただしかったのですが、食堂で朝食を済ませたあと、閉校式までは15分くらいしか時間がない中で、会場の体育館にどの学校よりも早く集まることができました。

式を済ませたあと、バスへ乗り込み菅平牧場に到着、そこから2つのコースに分かれてハイキングしました。牧場コースではそれは、それは大きな牛が触れるくらいまで何頭も寄ってきて、珍しいやら、怖いやら、嬉しいやら・・・。

お弁当の時間には全校が集合し、一緒にいただきました。みんなで過ごす時間が多くなり気持ちが開放されたようで、八中生が同じことで笑い、おしゃべりし、何とも言えない和やかな連帯感が生まれていたことが深く心に刻み込まれました。

集団生活では個人生活と違い、周囲のペースに合わせなければならなかったりしますが、テキパキと行動し周囲と協調することができ、素晴らしい2日間になったと思います。

修学旅行と移動教室。日頃ではできない経験を積んで、またひとまわり、ふたまわりも成長しました。

7月の主な予定

4日(月) 朝礼、専門委員会	19日(火) 美化活動日(ジャージ登校)
6日(水) 職員会議	20日(水) 終業式、区生徒意見交流会
9日(土) 土曜補習教室	21日(木) 三者面談、補習教室始 前期プール始(6)
11日(月) 朝礼、安全指導	26日(火) 前期プール終(6)
12日(火) 避難訓練(地域班)	27日(水) 職場実習始(6)
13日(水) 校内研修会	29日(金) 三者面談、補習教室終
15日(金) 保護者会 14:40~	

今月のきらめく八中生

剣道 「第75回大田区民スポーツ大会個人戦」第3位
「第1ブロック夏季大会」ベスト8(都大会出場)
バドミントン 「区冬季2年生大会ダブルス」優勝
「区冬季大会団体」第3位

ソフトテニス 「夏季区選手権大会」第3位
(都大会出場)

バレーボール女子 「夏季区選手権大会」優勝(ブロック大会出場)



3年生 修学旅行



6組1, 2年生 合同移動教室